



# 六桜花



令和3年度 第18号  
初島小学校 学校通信  
令和 4年 2月16日

## 感染対策とICT機器

学校では、3学期に入り和歌山県の感染拡大が続いていることから、マスク越しでも“大きな声を出すこと”はもちろんのこと、“近距離”で“長時間”行う活動（グループで机を近づけて行う学習、理科室での実験、調理実習、歌唱や吹く楽器の演奏など）を制限しています。

よって、授業の進め方にも工夫が必要です。例えば、タブレットを通して自分の意見を発表したり（モニターに全員の意見が反映されるので瞬時に他の児童の意見が読み取れます）、教員が理科の実験をする様子をタブレットで観たり、リコーダー演奏を家で練習し動画に撮って教員が確認するなど・・・しかし、子どもたちは混乱することもなく、教員の指示をよく聞き、学校生活を今までと変わりなく頑張っています。

このように、従来の授業形式をベースにしながらICT機器を活用することは、感染対策にも有効なことが多くあります。1人1台のタブレット貸与とネットワークの整備が行われたことで活用の幅が広がっているのです。

学校は、引き続き児童の健康観察、手指消毒や手洗い、黙食など感染対策を進めつつ、学力を高めるための研究とICT機器をどう活用するかの研究も進めていきます。

保護者の皆様には、常々感染対策にご協力を頂きありがとうございます。今後とも、よろしくお願い致します。



タブレットを活用して国語の授業と理科の実験（4年）



鍵盤ハーモニカを全員で吹く代わりに1人のオルガンに合わせて練習（1年）



川田先生の書写をタブレットで拝見（6年）



マスクをして跳び箱の練習（5年）



模型を使って不織布マスクの勧め（全校）

## 教員たちの研究

今年度、本校では教員が、「論理的思考力・表現力を高める国語科指導方法の工夫」について研究しています。研究授業を行い、全員で参観した後で協議会をもち、成果と課題等について話し合います。3学期の研究授業は、感染対策から全員で参観することや会議をすることを避け、自分の教室からそれぞれがリモートで参観し、協議も行いました。

この取組で、自身がリモート授業を行うための練習になり、リモート授業の時に児童はどんな風に授業を受けているのかわかる利点がありました。



教室後ろにカメラ（写真左隅）



児童の発言を文字起こしして共有（写真奥）



協議で市教委の指導主事より助言

## 初小の子どもたち



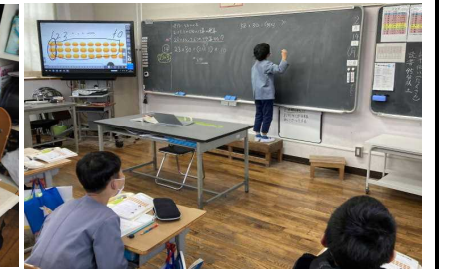
図書委員が低学年に読み聞かせ（読書活動推進の一環として）



けん玉など“昔遊び”を学習（1年）



卒業制作に夢中（6年）



黒板に書きながら説明、これも大切（3年）

## 学校からの発信

以前からお知らせしているように、この「六桜花」と並行してホームページ上の“ブログ”でも学校の様子を月に3回程度お知らせしています。授業参観が思うように開催できない中、少しでもお子様たちの学習や学校生活の様子を見て頂ければと思います。

